

1 単元名 『大造じいさんとガン』—大造じいさんは、どうして・・・—

2 単元について

単元目標	登場人物の心情を読みとり、友だちの考えをよく聴き、自分の考えを深める。
------	-------------------------------------

物語文『大造じいさんとガン』は、狩人である大造じいさんと、ガンの群れを率いる「残雪」との互いの生活と命を懸けた「戦い」が、椋鳩十の美しい描写で生き生きと描かれた物語である。最初はたかが鳥と侮っていた大造じいさんであるが、残雪との戦いの度に残雪の持つ知恵に少しずつ感心するようになり、最後は、自らの命と引き替えに仲間を救おうとするガンの頭領としての姿に、残雪に対する姿勢を大きく変化させる。自然描写が大造じいさんの心情とも反映され、読み深めるほど、様々な読みが生まれてくる物語である。

物語文では、読み深める「問い」を各自が持ち、その問いの答えを考えることから物語を読み深めてきた。この物語では、多くの児童が、大造じいさんの心情の変化に目を向けるものと考え。「どうして残雪をしとめなかったのか」、「どうして逃がして、また戦おうと言うのか」など、子どもの問いをみんなまで考え、聴き合うことから、読み深めていきたい。

高学年の読解において、様々な読みが生まれる場面でもある。問いに対する答えを探すだけでなく、他者との感じ方や読みの違いを感じ、様々な読みが交錯する面白さも子どもたちに感じてほしいと考える。

3 学習指導計画（10時間目／全11時間）

- (1) 初発の感想を書き、交流する。言葉調べをする。（1時間）
- (2) 四つの場面ごとに大造じいさんの気持ちと、残雪の様子・知恵を読みとる（2時間）
- (3) 読み深めたい問いを自分で考え、問いを交流する（2時間）
 - 読み深める「問い」→答えの根拠が文章にある、納得できる読みとりである。
 - 問いの書いたノートの問題を解き合い、問いを交流する。
- (4) みんなで選んだ読み深める「問い」について考え、考えを交流する（5時間）【5／5時間（本時）】
 - ・「大造じいさんは、なぜ残雪をしとめなかったのか」
 - ・「大造じいさんが強く心を打たれたのはなぜか」
 - ・「(動物の世界における) 頭領とはどんな存在なのか」
- (5) 読みとったことから、学習の振り返りを書いて、感想交流する。（1時間）

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

大造じいさんがなぜ残雪をうたなかつたのか、友だちの考えをよく聴き、自分の考えを持つ。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 音読 2 本時の課題について確認する。 大造じいさんは、なぜ残雪をしとめなかったのか。 3 自分の考えをノートに書く。 4 考えを交流する。 ・それぞれの考えについて質問したり、意見したりして話し合う。	○本時の場面の確認 ○課題の「問い」の確認 ○自分の考えをノートに書く。 ○それぞれの考えを伝え、話し合う。 ・異なる読みについて気づかせたい。 ○意見交流の中からもいろいろな気づきを生み出し、多様な読みを感じ合いたい。

○授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・「大造じいさんとガン」の読み深め方、子どもの持つ疑問や問いの迫り方